

呼吸・心臓リハビリテーション

疾患ごとに最適なリハの手技と根拠がわかる

第3版

contents

● 第3版の序	高橋哲也	3
● 第3版の序	間瀬教史	4
● 初版の序	居村茂幸	5
● 略語一覧		8

第1章 呼吸・心臓リハビリテーションに共通した評価方法 間瀬教史

1. 胸部の観察	12
2. 呼吸困難の評価	27
3. 運動耐容能の評価	29

第2章 呼吸器疾患のリハビリテーション 間瀬教史

1. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	34
2. 間質性肺炎	71
3. 外科手術後の急性呼吸不全	80
4. 肺炎・ARDS	109
5. 気管支喘息	123

1. 心不全	140
2. 冠動脈疾患	160
3. 心臓外科手術	175
4. 胸部大動脈瘤・急性大動脈解離	203
5. 下肢閉塞性動脈疾患	219
6. 植込み型心臓電気デバイス (CIED)	226
7. 心臓リハビリテーションにおける運動療法	233
8. 付録	255
① リハビリテーション (運動) を一時中止する反応	
② ボルグスケールと修正ボルグスケール	
③ 心疾患理学療法におけるリスクマネジメント基準	
④ 運動療法前のメディカルチェック	
⑤ 主な身体活動と METs	
● 索引	259

本書の構成

本書では疾患ごとに、『**A知識の整理**』『**Bリハビリテーションプログラム**』の2部構成で解説しています。

A知識の整理

各疾患の病態や画像所見、
治療法などを理解する。



Bリハビリテーションプログラム

臨床経過や病態に応じた
プログラムの流れ、
リハの手技などを理解する。